

コード	10202020
記入日	H25.8.1

新規事業評価表【事前評価】

課コード	105
課名	総合政策課
課長名	石田 信明
担当者	石田 卓也

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	首都圏大学生誘致事業
----------	------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	2
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10202	基本事業名称	交流ネットワークの形成	目コード	7
事務事業コード	1020202	事務事業名称	離島活性化交付金事業費	細目コード	1375
関連計画	長崎県離島振興計画 離島活性化交付金等事業計画	法令・条例規則等	離島振興法 離島活性化交付金交付要綱		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 首都圏大学生	(対象指標1) 不特定			
(対象2)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
<p>・首都圏の大学生が地元の人では気づかない新上五島町の魅力を発掘し、その魅力を映像撮影、編集しネット発信することで本町の認知度の向上を図る。</p> <p>→離島活性化交付金事業（魅力発信交流事業）</p> <p>→本町の魅力発見・発信事業、PR活動 など</p>	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 映像製作回数	10回	H25：2回 H26：4回 H27：4回	平成27年度
	②			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
<p>・首都圏の大学生が地元の人では気づかない新上五島町の魅力を発掘し、その魅力を映像撮影、編集しネット配信することで新上五島町の認知度を上げる。また、各大学へPR活動を実施することで大学生の誘致につなげ交流人口の拡大を図る。さらに、少子高齢化が進んでいる離島において、若者が入り、イベント・お祭りなどに参加することにより地域の活力が生まれる。</p>	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 誘致大学生数	300人	H26：150人 H27：150人	平成27年度
	② 島内消費額	3,300千円	宿泊費、食事代、土産代、島内交通	平成27年度

実施 (DO)

	単位	全体計画	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
		H 25 ~ H 27							
活動指標	① 回	10	2	4	4				
	②								
成果指標	① 人	300		150	150				
	② 千円	3,300		1,750	1,750				
総事業費 C (A+B)	千円	22,585	10,031	6,277	6,277				
直接事業費 A	千円	18,385	8,631	4,877	4,877				
人件費 B	千円	4,200	1,400	1,400	1,400				
内 訳	従事職員数	人	0.6	0.2	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内訳	国補助金	千円	9,191	4,315	2,438	2,438			
	県補助金	千円							
	起債	千円							
	その他	千円							
一般財源	千円	13,394	5,716	3,839	3,839				

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	若者の流出が多い中、大学生が入り地域と交流することにより活力が生まれる。また、イベント、お祭りなど人手が足りず実施が難しくなっている中で、大学生が入ることにより継続的に実施することが可能になる。そういったことから、大学生が入ってくる仕掛けづくりが必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	本町の魅力発信をするとともに、首都圏大学生の誘致につなげることから適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	本事業により地域の活性化、維持にもつながるため税金を投入して行う必要がある。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	事業を行わない場合は、地域について現状のまま衰退することになる。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	事業目的達成のため事業費であり削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	少子高齢化、若者の流出が多い本町にとって、首都圏の大学生を誘致して、本町のPR活動、交流人口の拡大を図り、地域の活力につなげていくものであるが、過去にも住民ディレクターなどの映像発信事業を実施している。その成果の検証・分析・活用等を踏まえ本事業を実施し、より効果的なもの、成果を得られるものとする。 (事業実施は離島活性化交付金の交付決定を条件とする。)
-------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>計画どおりに事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施期間を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を減額して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次		●	●		計画どおりに事業を実施する				事業内容を見直して事業を実施する				実施期間を見直して事業を実施する				事業費を減額して事業を実施する				類似事業と整理統合して実施する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画どおり実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画を見直して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>当分の間は実施しない</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次					次年度以降に計画どおり実施する				次年度以降に計画を見直して実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する				当分の間は実施しない
	1次	2次	3次																																											
	●	●		計画どおりに事業を実施する																																										
				事業内容を見直して事業を実施する																																										
				実施期間を見直して事業を実施する																																										
				事業費を減額して事業を実施する																																										
			類似事業と整理統合して実施する																																											
1次	2次	3次																																												
			次年度以降に計画どおり実施する																																											
			次年度以降に計画を見直して実施する																																											
			次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																											
			当分の間は実施しない																																											

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。